

こんちゅう ひょうほん つくりかた

昆虫標本の作り方

このテキストは大阪市立自然史博物館では、2014～18年の8月に「昆虫標本の作り方」実習を開催していました。

毎年、たくさんの方に参加いただいていたのですが、事情あって、2019年以後は開催できておりません。

お詫びに、その時のために作ったテキストを改訂したものを公開します。

どうぞ広く使っていただけますことを願っています。

しやけ
初宿成彦

(大阪市立自然史博物館・昆虫研究室・学芸員)

もくじ

1. チョウ・ガの標本 (展翅のしかた)
2. 大きな虫 (チョウ・ガ以外)
3. 針に刺せないぐらい小さな虫の場合
4. 針を使わない標本の作り方
5. ラベルの作り方 (例)

第1版：2021年1月26日

※わかりやすく改訂していきますので、ご意見ください。

電子メール：shiyake@mus-nh.city.osaka.jp

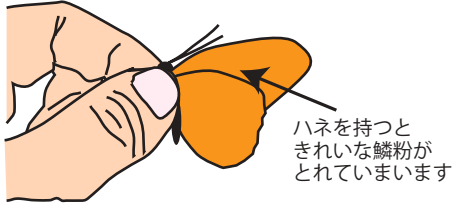


1. チョウ・ガの展翅のしかた

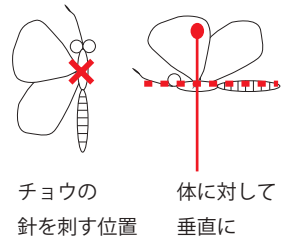
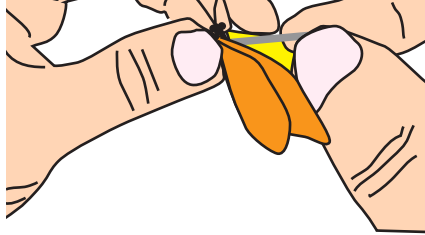
昆虫針 (虫に直接刺す)

待ち針 (固定用)

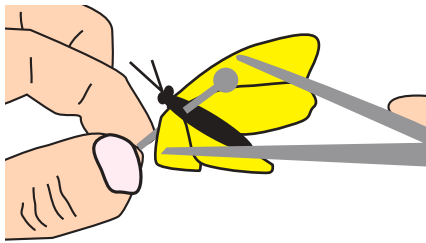
① チョウの胸を素手で持つ



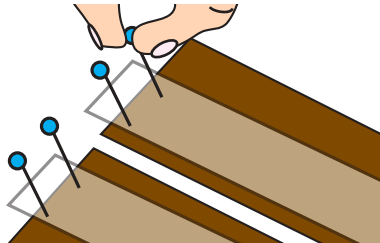
② チョウの体の真ん中に昆虫針を刺す



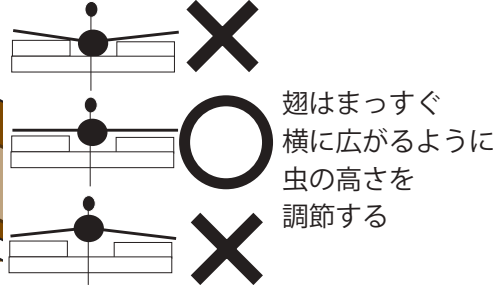
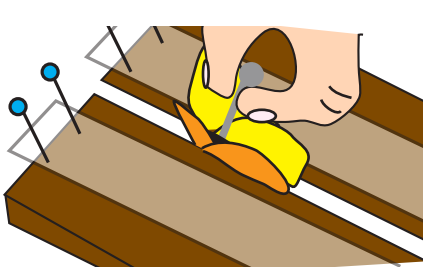
③ ピンセットでハネを広げてみる



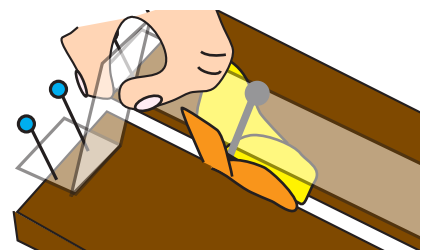
④ 展翅テープを展翅板に待ち針でセットする



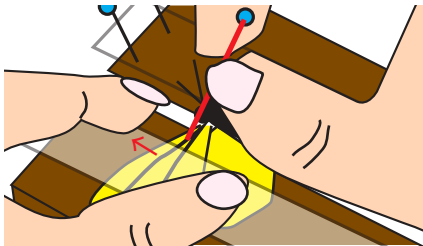
⑤ チョウを展翅板の中央に刺す



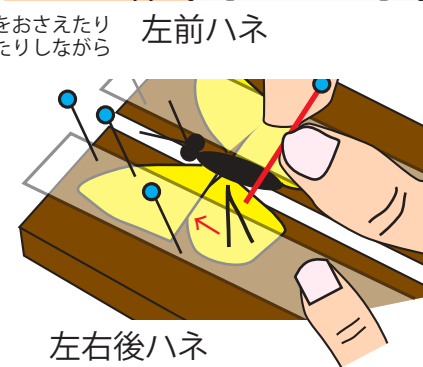
⑥ 展翅テープをハネにかぶせる



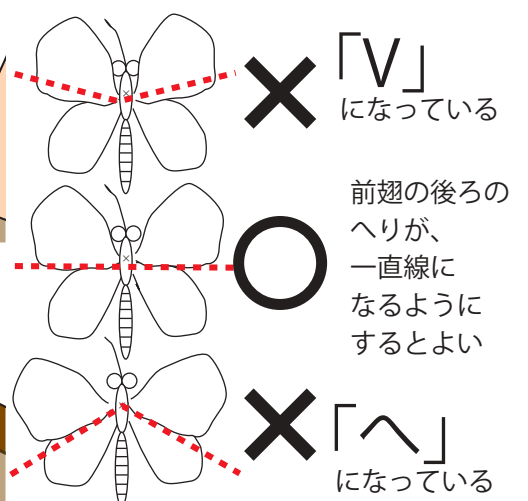
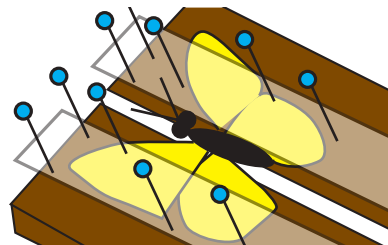
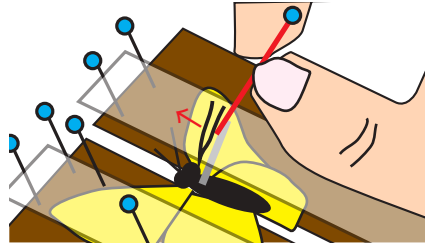
右手 ハネの固くなったスジ (翅脈) を待ち針でひっかけながら



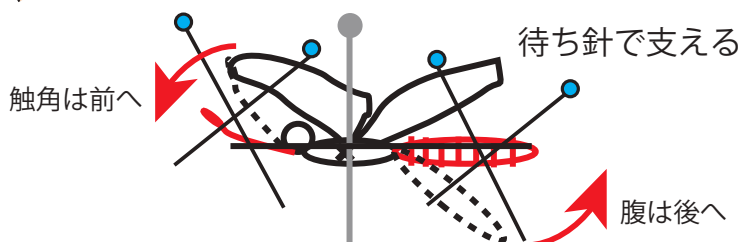
左手 テープをおさえたりゆるめたりしながら



⑦ ハネを形よく整え、待ち針でとめる



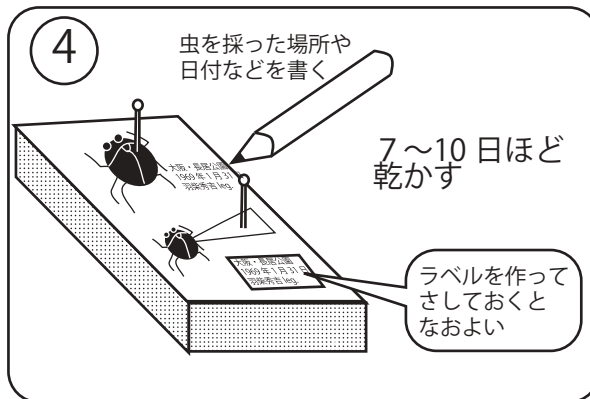
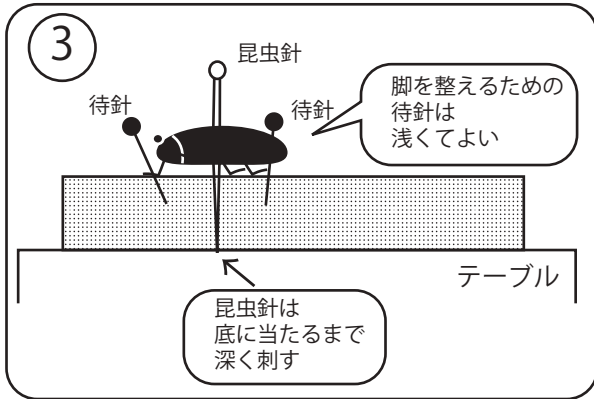
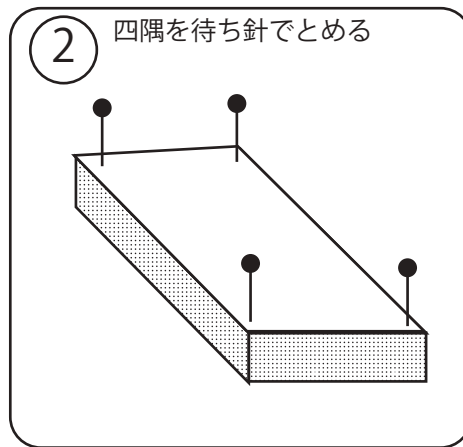
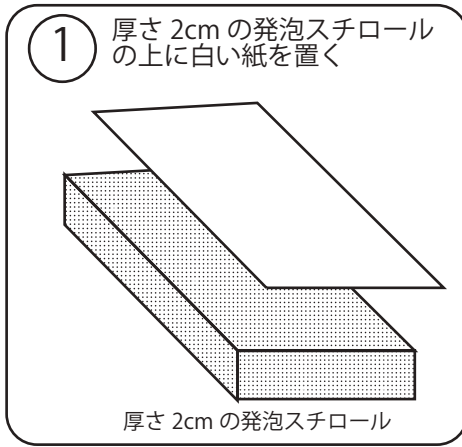
ここがいちばん難しい



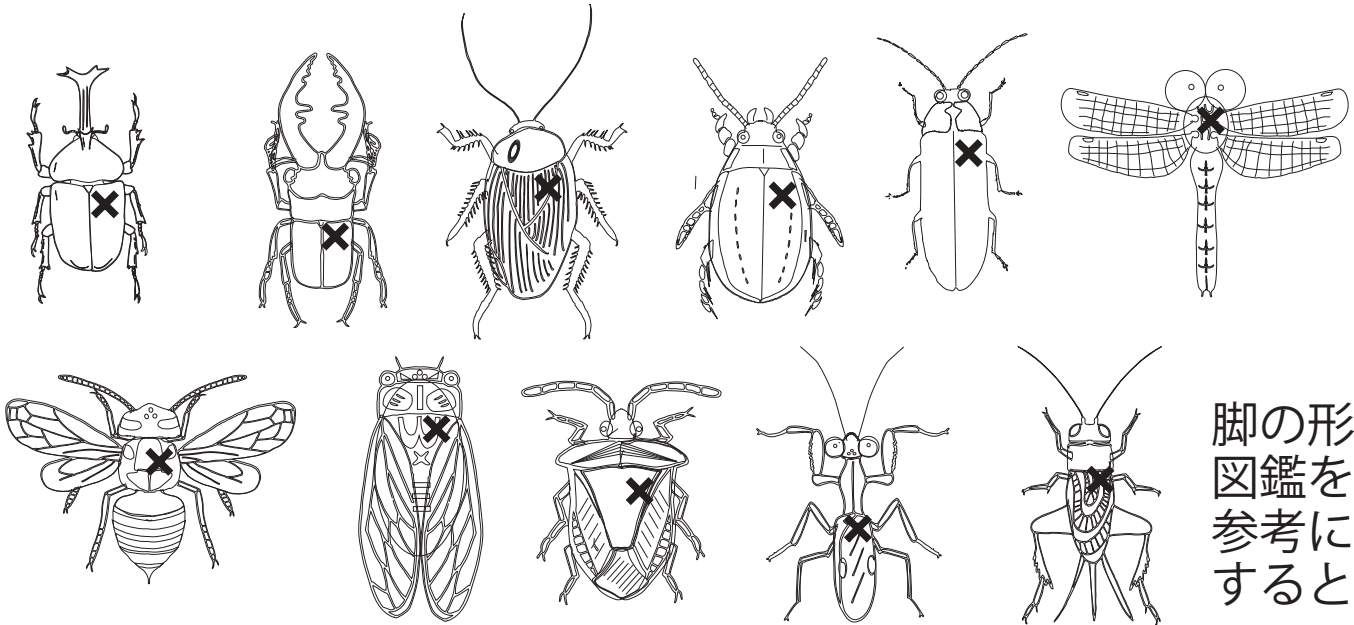
2. 大きな虫（チョウ・ガ以外）の標本

てんそくばん
展足板

虫に刺すのは
「昆虫針」
ととのえるのに
刺すのは「待針」

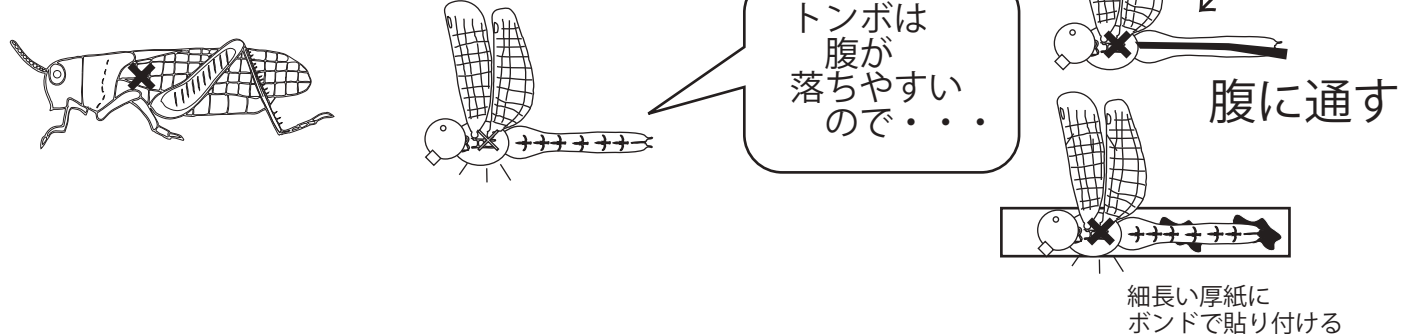


針は中胸（ちゅうきょう）に刺す ※左右は真ん中を避けて、やや右側に

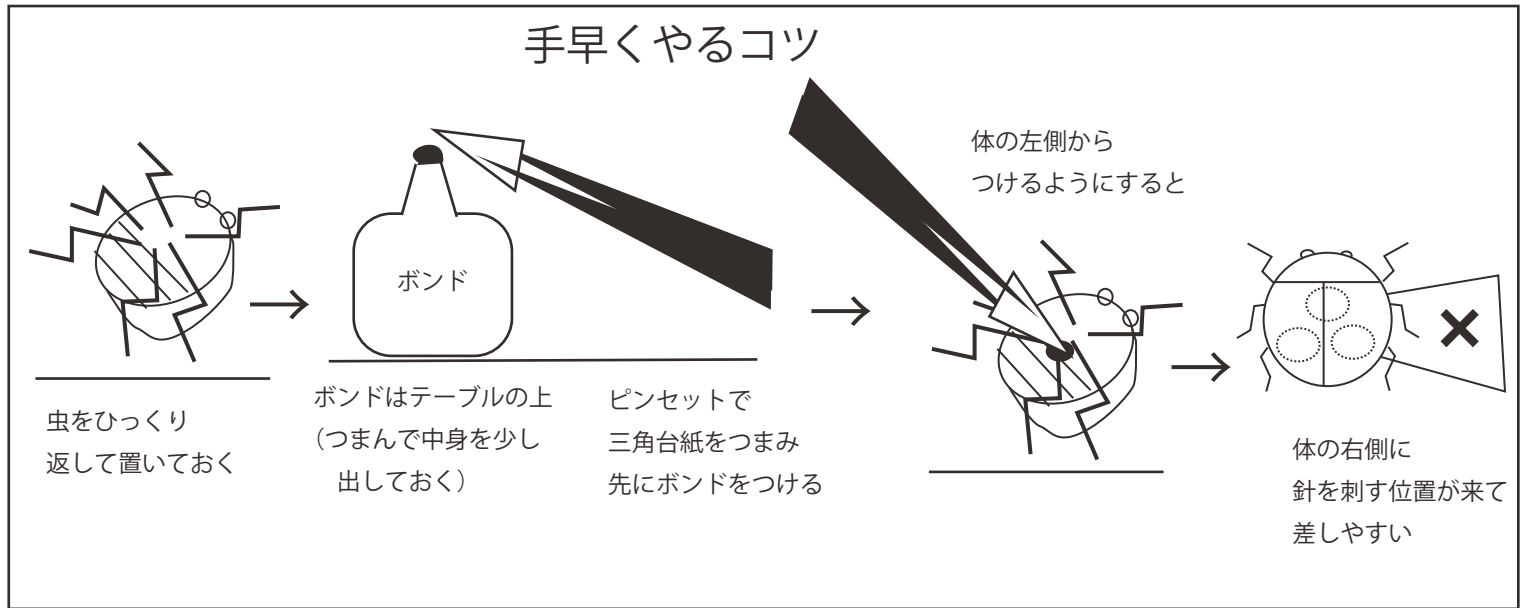
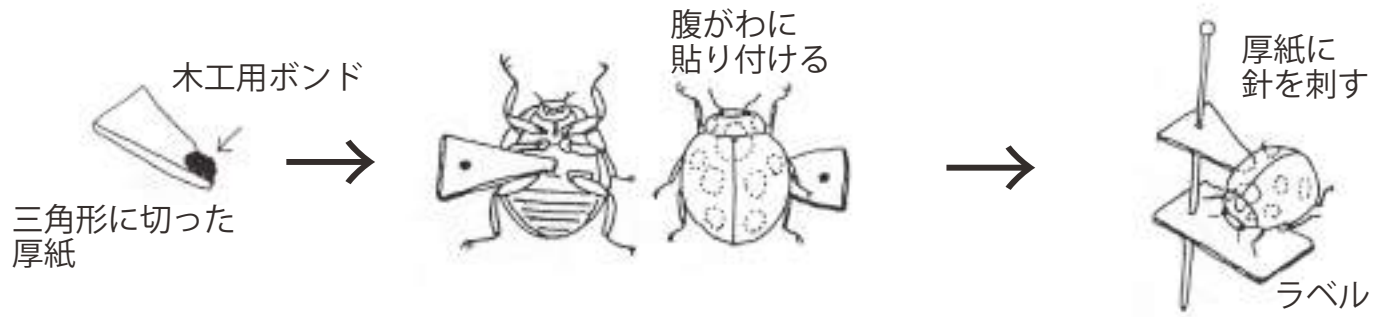


脚の形は
図鑑を
参考に
するとよい

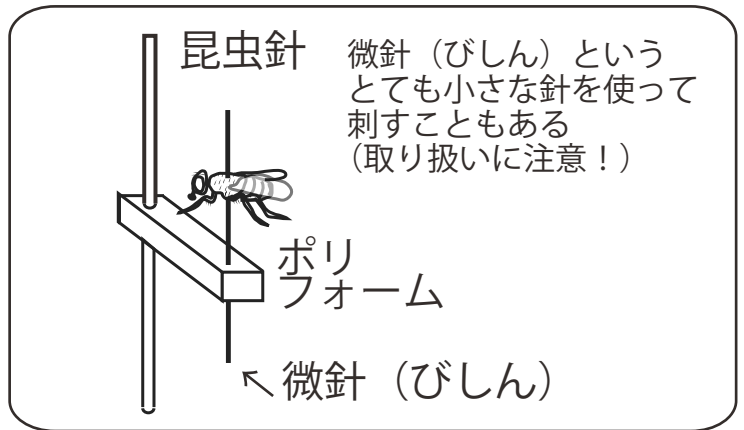
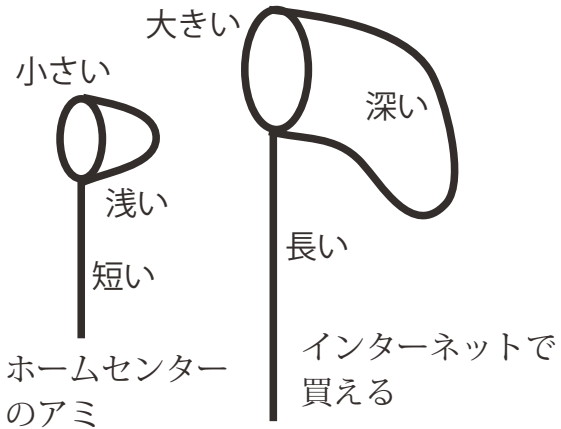
バッタやトンボは横刺しにするひともある



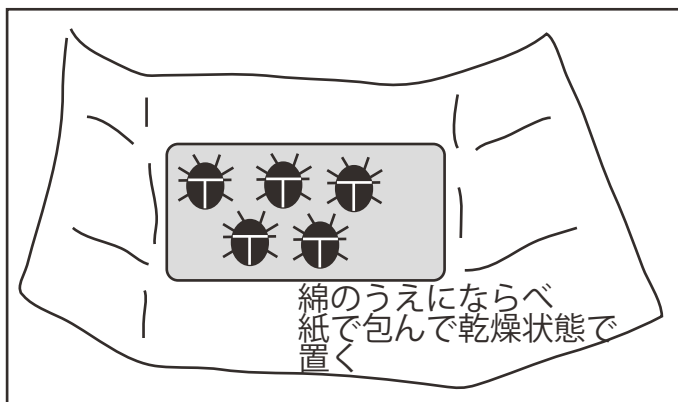
3. 針に刺せないぐらい小さな虫の場合



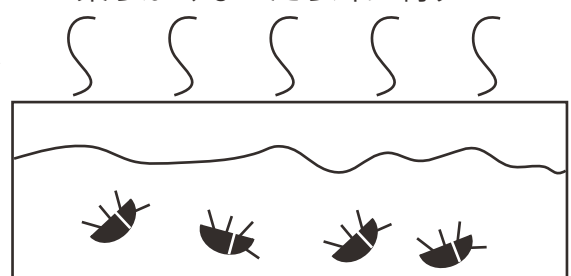
プロわざ紹介



すぐに針にさせない場合



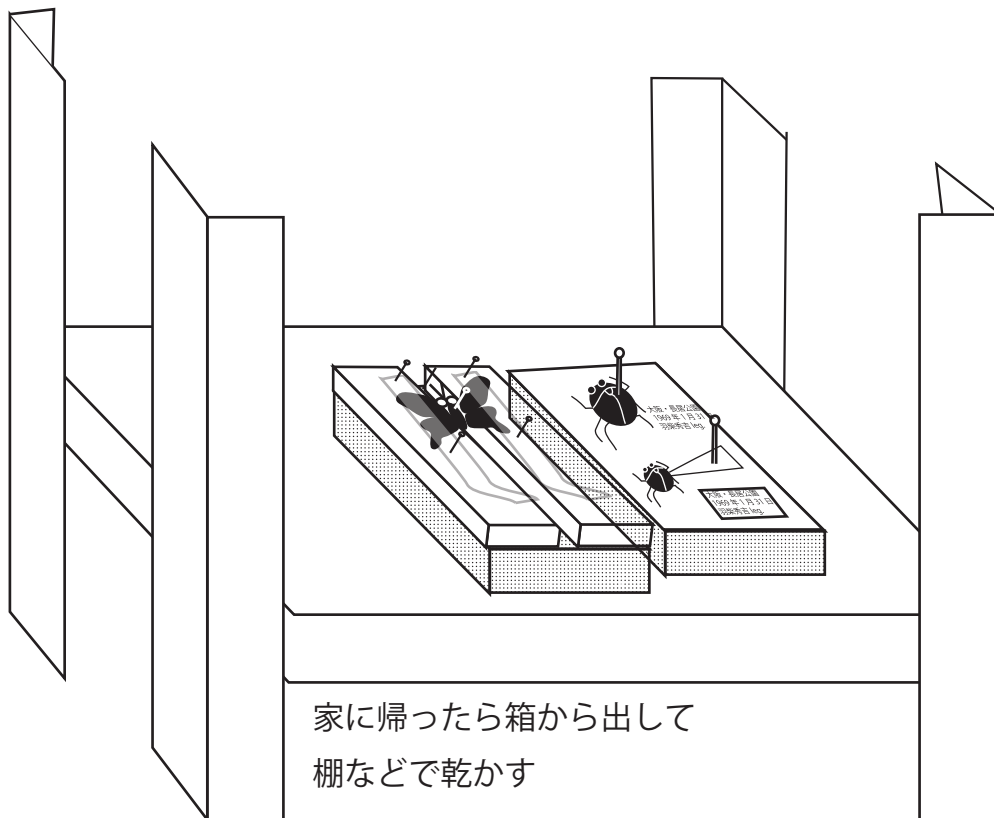
甲虫・セミなど固い虫はそのままお湯に入れば「もどる」→柔らかくなったら針に刺す



鱗粉のあるチョウガやハエ・ハチなど柔らかい虫には向きません

- ・タッパーなど密閉して常温に置くと腐ります
- ・冷蔵庫、冷凍庫で保管するとベター

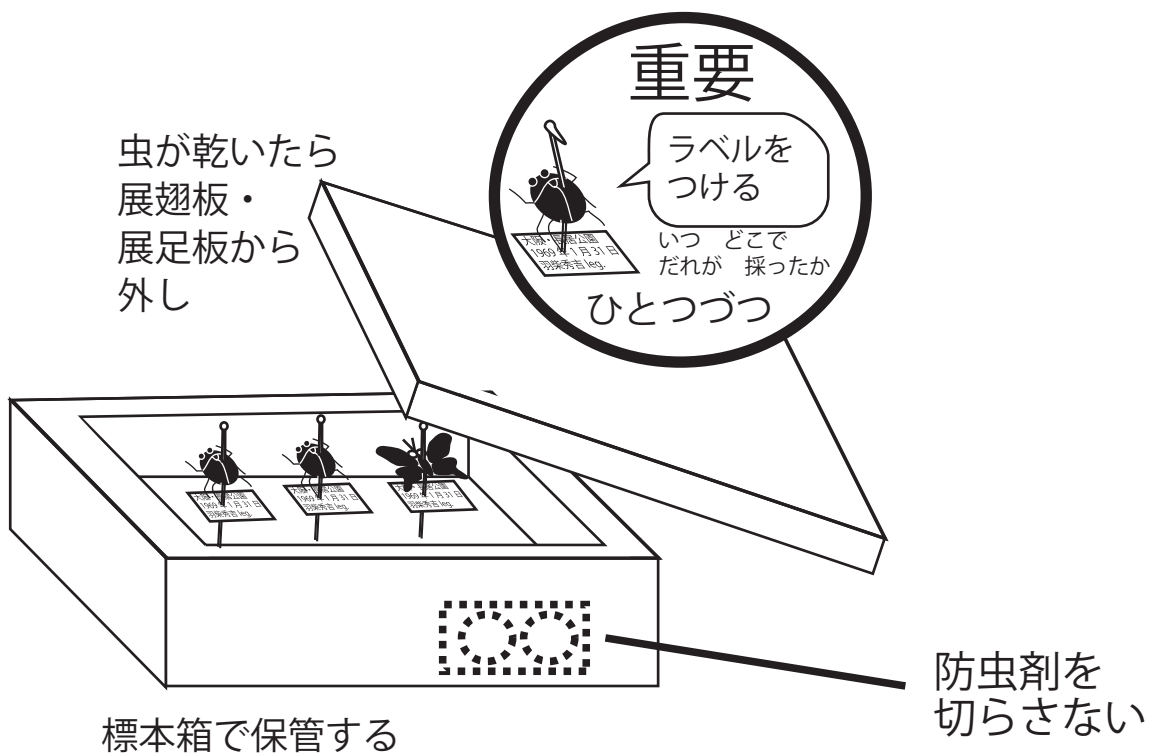
針にさしたら、屋内で乾かします。



タッパーに
入れたまま
放置すると
くさりますよ！

家に帰ったら箱から出して
棚などで乾かす

夏なら
数日～1週間
でよい



虫が乾いたら
展翅板・
展足板から
外し

重要

ラベルを
つける

いつ どこで
だれが 採ったか

ひとつづつ

標本箱で保管する

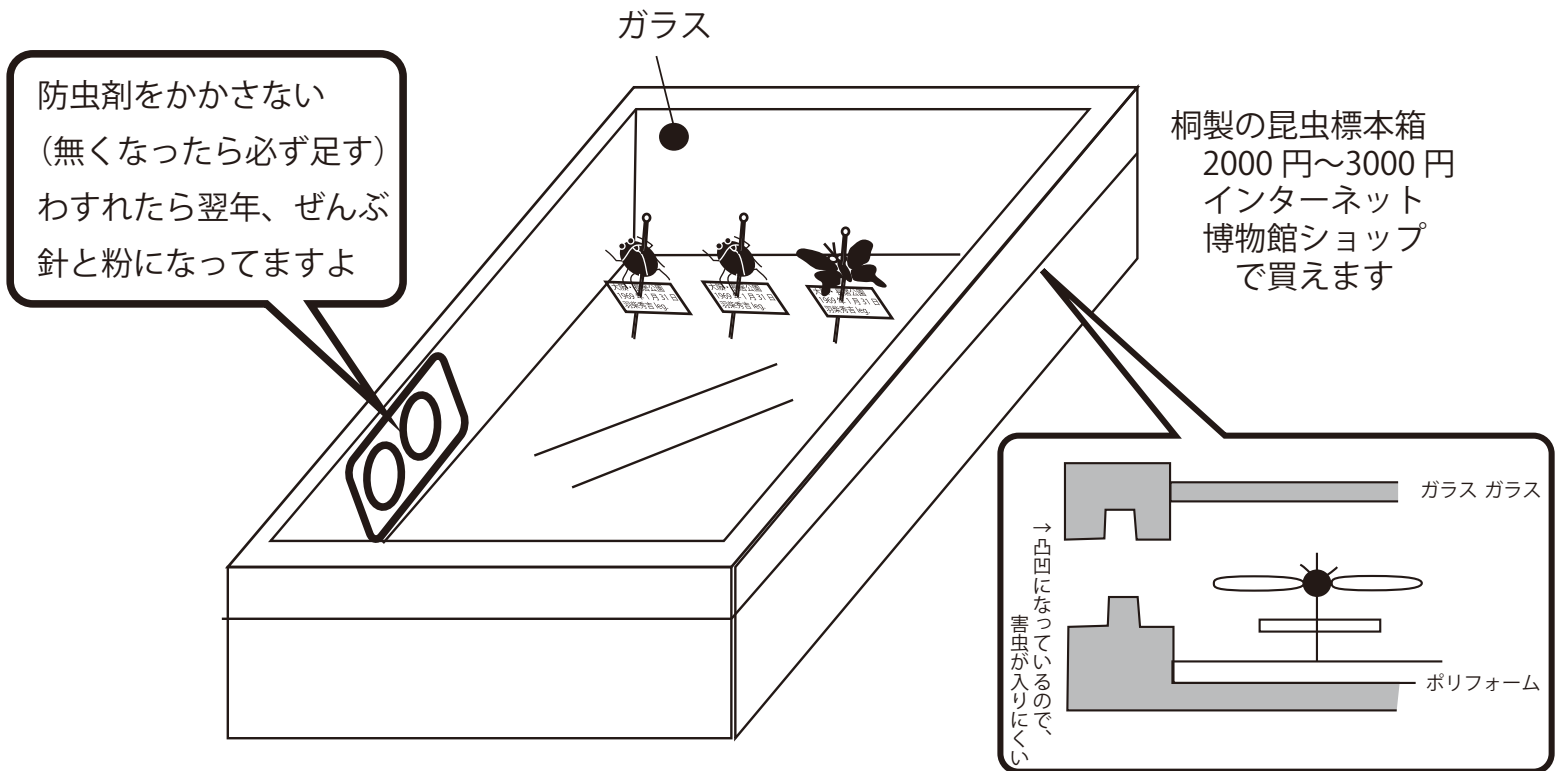
防虫剤を
切らさない

標本の保管

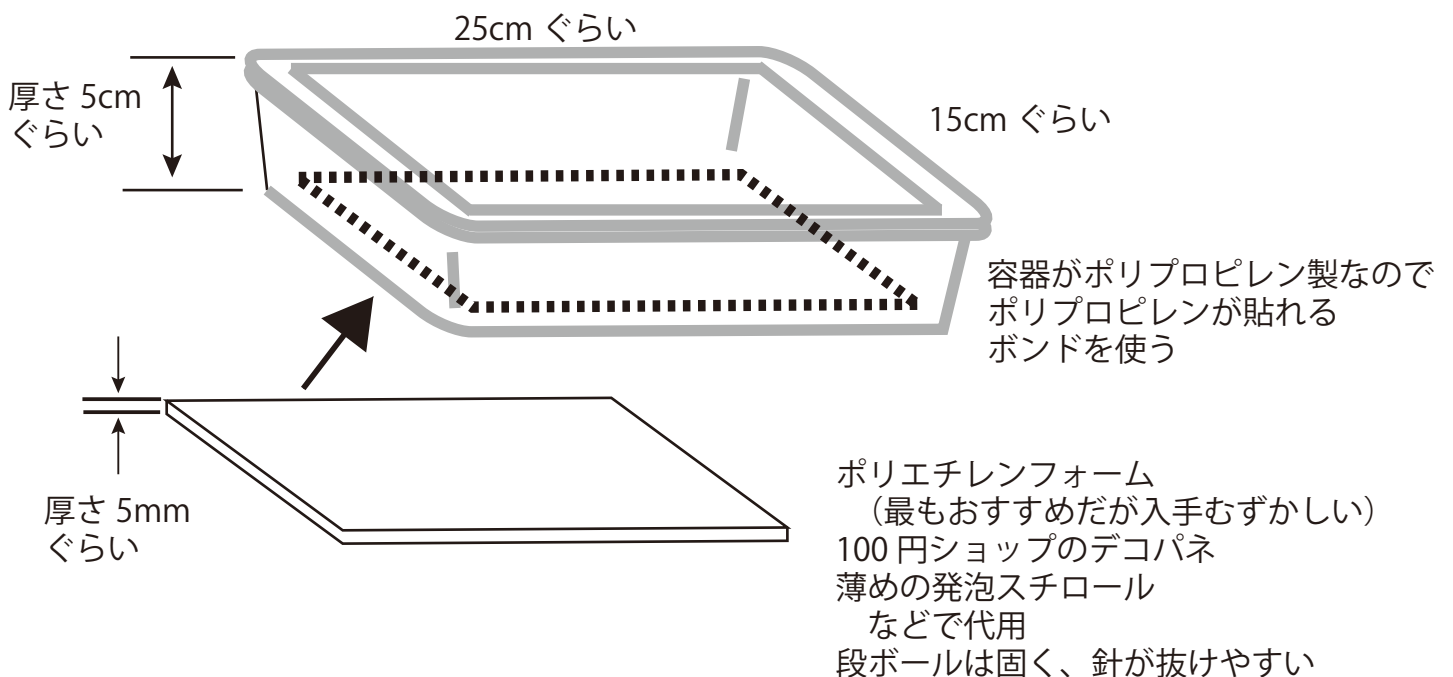
・スキ間のまったく無い、桐製の標本箱を使うと、標本がきちんと保管できます。

※お菓子の紙箱などはダメです。これを使うぐらいなら、最初から標本を作らないほうがマシです。

標本箱には防虫剤を必ず入れるようにします。←市販の衣装ケースに入れるものでよいです。



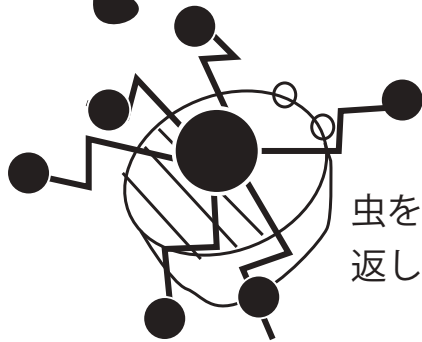
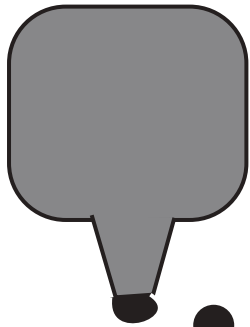
100円ショップで売っているシール容器（タッパー）で
安く作ることもできる



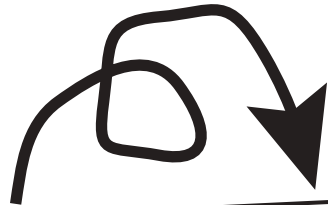
4. 針を使わない標本の作り方

簡単な方法ですが、正式な方法ではありませんから、本当は1～3の針を使った作り方をお勧めします。

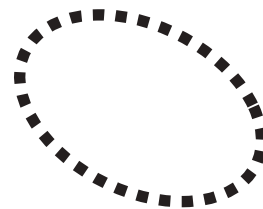
木工用ボンド
事務用糊でもよい



虫をひっくり返して置いておく



ハガキぐらいの厚さの紙
容器（内寸）のサイズに切っておく



大阪市長居公園
2021年5月5日
羽柴秀吉 leg.

ラベルも必ず作って貼ろう

重要!

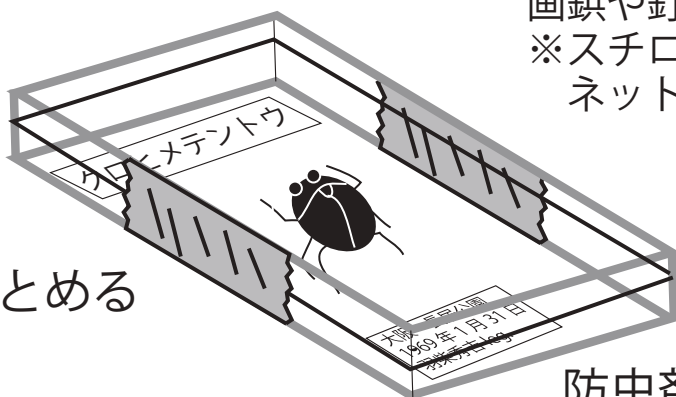
乾かすのは
家の中の棚
机の上などでよい

貼り付けたら



数日乾かす

すぐフタをすると
標本が腐ります!



テープでとめる

画鋲や釘の透明ケース
※スチロール容器という名前で
ネットや工作販売店など売ってます

大きな虫は
100円ショップの
プラモデルケースでも
よいです

防虫剤はなくてもいいですが
ボンドをしっかりとつけないと
虫がはがれることがあります



5. ラベルの書き方(例)

京都府福知山市大江
仏性寺 alt.260m
2013年6月1-2日
山田 太郎 leg.

京都府大江山
alt.650-833m
2013年6月1-2日
田中 花子 leg.

JAPAN: Osaka
Nagai-koen
13.July.2013
Taro Yamada leg.

JAPAN: Nara
Yamatokoriyama
Yatacho (矢田町) alt.190m
N34 39' 51"/E135 44' 18"
22.Feb.2007
Hanako Tanaka leg.

昆虫の場合
できるだけ
小さく!

必ず

・ **いつ**
・ **どこで**
・ **だれが**

とったかを書く。

(日本語でもローマ字でもよい)

他には

来ていた花の名前

とった場所の環境

(湿原、干潟、ブナ林など)

緯度経度

標高(alt.)

採り方(トラップ、街灯など)

を書くとよりよい

(……でもラベルは大きくならないように)

leg.は採集者の意味(ラテン語)

月はローマ数字(i, ii, iii,……)でもよいが

数字は月か日かわからないのでさける

(8.7 = 8月か7月か? 国によっては逆に書くことがあるから)